

自治労連・守口市職労

「憲法守らなどうなんねん！」 月1回のペースで、昼休み学習会

平和があってこそその地方自治

昨年、11月に自民党は「新憲法草案」を発表し、憲法第9条の改正を柱とする憲法改正に進み始めた。平和があってこそその地方自治であるという認識の下、市職労自治研部は「憲法守らなどうなんねん！」学習会を企画、12月より月1回のペースで、昼休み学習会を開催してきました。

イラクの悲惨な映像にショック、多額のカンパが

6月9日(金)には、イラクの人道支援に活躍されている、元吹田市職員の西谷氏が、イラクのジャーナリスト、イサム・ラシード氏を連れて帰国されていると聞き、緊急に学習会を組織しました。

自ら命がけで撮影してきた映像を紹介、改めてイラクの悲惨な状態や戦争状態が続いている現状にショックを受け、固唾を呑んで映像に見入っていました。

ラシード氏は、「戦争状態を一刻も早く止める為、皆様のご協力をお願いいたします」と訴えられ、労働組合として支援のカンパを訴えたところ、組合員から多額のカンパが寄せられ、お渡ししました。

この間の学習会取り組み状況です。

2005年

12月 8日(木) 自民党新憲法草案 41名

2006年

1月18日(木) 自民党新憲法草案 51名

2月16日(木) 9条の会 9-nine ビデオ上映会

3月 4日(土) 守口市職労第12回自治研集会 62名

9条を守ろう「電子紙芝居」上映



3月17日(金)	9条を守ろう「電子紙芝居」	65名
4月19日(水)	「国民投票法って何？」	53名
5月18日(木)	「今、なぜ教育基本法改正なのか？」	58名
6月9日(金)	「イラクジャーナリストがイラクの今を語る」緊急学習会	65名
6月18日(金)	「憲法第9条と平和運動」	51名

福祉保育労・高鷲保育園分会

「経済」を入りに「平和」がわかった

高鷲保育園は羽曳野市にあります。3月20日の自衛隊イラク派兵3周年の時は、ピラをまいて、保護者の方から「できることがあれば言ってくださいね。」という言葉もいただきました。5月には職場で「9条の会」を作って、まず学習をしようと、弁護士の杉山彬さんにお話していただきました。「憲法とは何か」を話されるのかなあ、と思っていたら、まず最初に、今自己破産の依頼がすごく増えていることを紹介されました。そして、この苦しさが、アメリカの政策に言いなりにしているなかで生み出されてきたことをわかりやすく話され、アメリカ追隨の行き着くところが「憲法改悪」だということがとてもよく理解できました。「経済」を入りに「平和」がわかった、という感想でした。わかったからといってすぐに署名がすすむことはないのですが、恵我之荘地域の9条の会にも参加していますので、地域と結びついた活動ができれば、と思います。(小尻さん談)

*** 各団体での取り組みを労連闘争本部までお寄せ下さい。(担当：藪田・松尾)**